

《担当者名》○長谷川純子 j-hasegawa@hoku-iryo-u.ac.jp 多田菊代 中村宅雄 小島悟 鈴木英樹 武田涼子  
大須田祐亮 澤田篤史 岩部達也 佐藤一成 山根裕司 只石朋仁 用田歩

**【概要】**

患者にとって良い医療とは、患者と医療者との間で、適切な医療技術の提供および良好なコミュニケーションが成り立つことで達成される。患者および医療者間における信頼関係の確立や適切な医療情報の提供方法について、コミュニケーションの理論と実践方法を中心に学習し、医療現場において必要とされる総合的なコミュニケーションスキルを身につける。

**【学修目標】**

**【一般目標】**

患者および医療者間の良好な関係の確立や円滑な情報伝達を行うため、コミュニケーションの理論と実践を学び、医療現場で必要となるコミュニケーションスキルを身につける。

**【行動目標】**

1. 理学療法士としてのコミュニケーションの重要性を説明する。
2. 対象者と関わる過程において、以下の項目を実施する。
  - 相手に対して自己紹介をし、これから行うことを説明する。
  - 共感的理解の態度を示しながら、訴えを聞く。
  - 相手の話を促進させるような、適切な促しをする。
  - 相手に言い残したことがないよう、十分に話を引き出す。
  - 現病歴を捉える。
  - 訴えを要約し、簡潔にまとめる。
3. 関係する医療職とのコミュニケーションの重要性を説明する。

**【学修内容】**

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
1	イントロダクション 他の医療職とのコミュニケーション	授業オリエンテーション コミュニケーション、医療コミュニケーション、医療面接 関係職種とのコミュニケーション 提出課題	長谷川純子 多田菊代
2 ) 3	コミュニケーションとは	ワールドカフェ	長谷川純子 多田菊代
4	理学療法士-対象者間のコミュニケーション	(演習) 医療面接の流れ 挨拶 相手の確認 自己紹介 オリエンテーション	長谷川純子 多田菊代
5	理学療法士-対象者間のコミュニケーション	(演習) 状態を尋ねる(現病歴、主訴など) 対象者の要望を尋ねる 協力のお願いや激励の声かけなど 記録	長谷川純子 多田菊代
6	理学療法士-対象者間のコミュニケーション	(演習) 傾聴・共感	長谷川純子 多田菊代
7	理学療法士-対象者間のコミュニケーション	(演習) 一連の流れでの演習	長谷川純子 多田菊代
8 ) 9	理学療法士-対象者間のコミュニケーション	事例検討 面接の記録	長谷川純子 多田菊代
10 ) 11	理学療法士-対象者間のコミュニケーション	模擬医療面接- 提出課題	長谷川純子 多田菊代

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
12	理学療法士-対象者間のコミュニケーション	模擬医療面接- 振り返り	長谷川純子 多田菊代
13 )	理学療法士-対象者間のコミュニケーション	模擬医療面接	担当者全員
14			
15	理学療法士-対象者間のコミュニケーション	模擬医療面接 の振り返り 授業アンケート	担当者全員

**【授業実施形態】**

面接授業

授業実施形態は、各学部（研究科）、学校の授業実施方針による

**【評価方法】**

学修態度（各回の提出物、課題への取り組み） 50%

小レポート 20%

模擬医療面接 30%

**【教科書】**

指定しない

**【参考書】**

山口美和 著 「PT・OTのためのこれで安心コミュニケーション実践ガイド 第2版」 医学書院 2016年

三宅わか子 他 著 「会話例とワークで学ぶ 理学療法コミュニケーション論」 医歯薬出版 2018年

**【備考】**

提出課題はオンライン上（manaba）への提示とする。

**【学修の準備】**

予習：初回授業時に配布するオリエンテーション資料や参考書を熟読して授業に備えること。（30分）

復習：授業で実施した演習内容を、様々な身の回りの人と練習すること。（30分）

**【ディプロマ・ポリシー（学位授与方針）との関連】**

（DP1）生命の尊厳と人権の尊重を基本とした幅広い教養、豊かな人間性、高い倫理観と優れたコミュニケーション能力を身につけている。

**【実務経験】**

全担当教員（理学療法士）

**【実務経験を活かした教育内容】**

医療機関や保健福祉施設での理学療法士としての実務経験を活かし、対象者とのコミュニケーションにおける実践的教育を行う。